

令和5年度事務事業評価シート

2023.03.21

事業番号	3048	担当課等	観光課						
事務事業名	夏季行事開催事業								
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	夏季期間にイベントを開催することにより集客効果の向上を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	やっさまつり(踊りパレード)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度まで中止。令和4年度は規模を縮小し2日間実施。令和5年度はコロナ禍前の状態に戻し実施。令和4年度から地方創生推進交付金を活用し、新たな温泉資源であるクラフト温泉のPRも併せて実施した。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		9,385,717	26,437,259		26,210,000		
	人件費	常勤職員	4,346,700	4,249,500		4,464,450		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	4,346,700	4,249,500		4,464,450		
	総事業費		13,732,417	30,686,759		30,674,450		
財源内訳	国庫支出金			10,000,000		10,000,000		
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		13,732,417	20,686,759		20,674,450		
	財源合計		13,732,417	30,686,759		30,674,450		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製			事業の周知・広報		枚	25500	8800	25500
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観覧者数			事業効果の客観的判断		人	9000	36000	35000
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	町の最大の祭りとして長年継承されており、地域文化の継承と観光客の誘致に一定の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	特に湯河原温泉花火大会を実施することで、観客は増加しているが、踊りパレードの観客は横ばいの傾向にある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民や観光客が参加できるイベントであり、受益の機会は均等である。住民、観光客とも夏季休暇中の一大イベントとして認識されており、町としても同様に位置付け広報等を行い周知している。
令和4年度までの自己評価または改善点		平成14年度から踊りパレードに新調を加え、幕山公園通りの参加団体の維持に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度まで中止、令和4年度は規模を縮小し2日間実施。令和5年度はコロナ禍前の状態で実施。やっさパレード等の参加団体を増やしていく必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	実行委員会を組織し、委託
令和5年度の見直し及び改善予定	やっさままつりについては、令和5年度はコロナ禍前の状態に戻し実施したものの、踊り連をはじめとする参加団体が減少傾向にあった。 花火大会については、令和3年度から台船業者の都合により、海上ではなく海浜公園外周路からの打ち上げを実施した。 海水浴場はステージを設置したが、運用方法について、検討が必要である。	
令和6年度以降の方向性	やっさままつりについては、踊り連をはじめとするパレードの参加団体が少ないため、アンケートを実施するなどして、参加団体が増えるような取り組みを考える必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	海水浴場では、トイレの設置及びイベントスペースの運用方法を検討する必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3079	担当課等	観光課							
事務事業名	梅の宴行事開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	幕山の裾野に広がる湯河原梅林で、立春イベントとして「梅の宴」を開催することにより集客効果の向上を図る。								
対 象	住民及び観光客								
内 容	多種多彩なイベント等(芸妓の舞・和太鼓等)を企画・運営し、梅の宴として開催。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		9,628,650	10,431,805		11,794,000		
	人件費	常勤職員	1,738,680	1,699,800		1,785,780		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,738,680	1,699,800		1,785,780		
	総事業費		11,367,330	12,131,605		13,579,780		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		11,367,330	12,131,605		13,579,780		
	財源合計		11,367,330	12,131,605		13,579,780		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製			事業の周知・広報		枚	117970	11000	100000
来園者数			事業効果の客観的判断		人	54353	60466	60000
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
来園者数					人	54353	60466	60000
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	梅の宴開催期間中には、約16,000人もの観光客が湯河原へ宿泊されているので、一定の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	近年、入園者数が減少傾向にある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	均等と考えている。
令和4年度までの自己評価または改善点		・足の不自由な方へ、電動車いすを貸与。 ・新型コロナウイルス感染症からの新たな日常に向けた対応の実施。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	実行委員会に委託している。
令和5年度の見直し及び改善予定	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、はじめての梅の宴の開催となったが、東屋ステージやチップ広場で新たなイベントを実施できたものの、運転手不足等による臨時直通バスの減便により来場者数が前年を下回った。 ・新たに鍛冶屋橋が開通したため交通動線の確認を実施。	
令和6年度以降の方向性	・観光客の多くがバスを利用し梅の宴に来場していることから従前の臨時直通バスの運行本数を確保に努めるとともに、新たな観光客の輸送の検討及び確保が必要。 - また、出店者の高齢化などにより、出店を辞退する団体が出てきたため、梅の宴のイベントに相応しい出店者を募集し、来園者の満足度の維持・向上を図る必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	・来園者の増加を図るため、物販ブースをより魅力的なものにすることが必要。 ・観光客の輸送手段の確保が必要
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

20240322

事業番号	3124	担当課等	観光課						
事務事業名	武者行列行事開催事業								
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	④ 歴史的・文化的 資源の発掘、活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	史実に基づき、春の観光行事として定着している武者行列を実施。								
対 象	町民・観光客								
内 容	・4月の第1日曜日に武者行列を実施 ・観光用簡易衣装の製作								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		846,168	2,800,000	3,000,000			
	人件費	常勤職員	701,200	1,371,200	1,446,500			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	701,200	1,371,200	1,446,500			
	総事業費		1,547,368	4,171,200	4,446,500			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,547,368	4,171,200	4,446,500			
	財源合計		1,547,368	4,171,200	4,446,500			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
大人侍鎧製作数					領	3	5	5
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)					千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原の郷土史を後世に継承していくためにも、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	郷土愛を育み、後世に伝える貴重な場面となっており、効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	資料の散逸を防ぎ、土肥会会員の減少に歯止めをかけ、湯河原の郷土史を伝えていくことにより、郷土愛を醸成していくことができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考えている。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和2年度は大人侍の鎧及び源頼朝、土肥実平の鎧を作製。令和3年度は大人侍の鎧及び土肥遠平の鎧の作製。令和4年度は、湯河原町観光大使であり地元出身の俳優、船越英一郎氏とNHKドラマ「鎌倉殿の13人」で土肥実平役を演じた俳優、阿南健治氏を特別ゲストに迎えて開催した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	土肥会に委託
令和5年度の見直し及び改善予定	- 令和5年度は湯河原町観光大使であり、地元出身の俳優 船越英一郎氏と俳優の河相我聞氏を特別ゲストに迎えて開催した。 - 地元の豪族、土肥実平と湯河原の地から再興が始まった源頼朝にあやかり、湯河原を開運の地としてPRしていく。	
令和6年度以降の方向性	- 郷土の歴史を後世に伝えるべく、継続して進めていきたい。 - 令和5年度に続いて観光用の簡易衣装(鎧)を作製する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	観光大使に任命した「船越英一郎」氏についての今後を検討する必要がある。
---------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3135	担当課等	観光課							
事務事業名	湯河原梅林公園管理事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保し、更なる活性化を図る。また、電子マネー端末機を導入し料徴収の迅速化を図り集客効果の向上を見込む。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備、料金徴収に伴う委託や電子マネー端末機の導入、入園券の印刷、仮設トイレの設置等の経費。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	1,738,680	1,699,800	1,785,780		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	1,738,680	1,699,800	1,785,780		
	総事業費	18,121,712	18,284,284	21,296,780		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	18,121,712	18,284,284	21,296,780		
	財源合計	18,121,712	18,284,284	21,296,780		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製		事業の周知・広報	枚	117970	11000	117970
来園者数		事業効果の客観的判断	人	54353	60466	60000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
来園者			人	54353	60466	60000
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備などは、町が整備する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	立春の観光行事として、町内外で広く認知されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	来園者が、快適かつ安全に見学ができています。
令和4年度までの自己評価または改善点		・入園料の支払方法拡充のため、電子マネー(suica)を導入し来園者の利便性の向上を図った。 ・旅館の送迎用バスを、第1駐車場まで乗り入れを実施。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	湯河原梅林公園の開園に伴う施設整備等のため、町が行う必要がある。料金徴収業務等については、既に委託済み
令和5年度の見直し及び改善予定	・各券売所に新たな決済端末を導入し、QRコードをはじめとする様々なキャッシュレス決済への対応が可能となり来場者の利便性の向上が図られた。	
令和6年度以降の方向性	・トイレをはじめとする施設が老朽化しているため適切な維持管理が必要 ・梅の木の老木化が進んでいるため、植替え等の対策が必要	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	・施設の適切な維持管理
---------	----------	-------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.24

事業番号	3162	担当課等	観光課							
事務事業名	もみじの郷行事開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成18年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	・奥湯河原池峯地区において「もみじの郷」を秋の誘客の基盤とするため、行事を開催するため。 ・行事開催に伴う宣伝及びPR事業 ・もみじの郷チラシ作製								
対象	観光客、ハイカー、もみじの郷チラシ受領者								
内容	・奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知 ・近郊周遊型の誘致を図る								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		100,000	100,000	100,000			
	人件費	常勤職員	294,830	283,300	297,630			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	294,830	283,300	297,630			
	総事業費		394,830	383,300	397,630			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		394,830	383,300	397,630			
	財源合計		394,830	383,300	397,630			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
お茶室利用者					人	0	0	0
						0	277	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	3	必要性がある。 秋の観光客を誘客するため
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	2	費用対効果が得られていない。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	2	成果が得られていない
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会が均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		・もみじのハイキングコースの周知	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	9	もみじのハイキングコースの維持管理及び見ごろ時期の整備を行う必要があり、新たに万葉公園の玄関テラスでお茶室イベントを実施するなど、委託事業としての必要性が高い。
令和5年度の見直し 及び改善予定	・もみじの現状(落葉の進捗状況)を把握し、令和元年度まで奥湯河原にあるお茶室を活用したイベントを実施していたが、お茶室の活用が出来なくなったため、天照山・池峯ハイキングコースにてハイキングイベントを実施	
令和6年度以降の 方向性	もみじのハイキングコースの維持管理及び見ごろ時期の整備を行う必要があり、新たに万葉公園の玄関テラスでお茶室イベントを実施するなど、委託事業としての必要性が高い。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	PR方法を再考してほしい。 また、県道から高齢者やヒールでも行けることを検討する必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3170	担当課等	観光課							
事務事業名	宿泊促進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成22年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	・湯河原温泉旅館協同組合が宿泊促進事業事業として、アンケートによる抽選で宿泊ギフト券を発行し、宿泊リピーターとして誘客を図る。また、湯河原温泉落語、三遊亭小遊三一門会を開催し、リピーター客を確保する。								
対象	観光客、インターネット利用者								
内容	・宿泊誘客事業 ・旅行情報誌等への掲載及びインターネットを活用したPR事業 ・湯河原温泉落語の実施 ・小遊三一門会の実施								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		18,738,361	17,286,053		7,832,000	
	人件費	常勤職員	695,472	679,920		714,312	
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	695,472	679,920		714,312	
	総事業費		19,433,833	17,965,973		8,546,312	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		19,433,833	17,965,973		8,546,312	
	財源合計		19,433,833	17,965,973		8,546,312	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
落語イベントの来場者			観光客増加の指標となる	人	320	520	400
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる	千人	3800	3804	3800
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	必要性がある。 観光客のニーズを把握することができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	費用対効果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	成果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会が均等である。
令和4年度までの 自己評価または 改善点	10月7日に三遊亭小遊三師匠をはじめ春風亭昇太師匠を招いて落語一門会を町民体育館にて開催した。また、湯河原温泉の週末の楽しみが増えるよう、週末に見番寄席や温泉落語を開催した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	9	湯河原温泉旅館協同組合へ委託済み
令和5年度の見直し 及び改善予定	・宿泊客を増やすため、宣伝事業(インターネット配信)や誘客キャラバンを実施。 ・引き続き湯河原温泉落語の実施及び小遊三一門会を実施。	
令和6年度以降の 方向性	・三遊亭小遊三一門会は、旅館の宿泊者に対し一門会の入場料を割引価格で購入できる宿泊パック等を設けたが、利用が少なかったためPR方法の検討が必要。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
---------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3534	担当課等	観光課							
事務事業名	地域振興事業補助金									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成21年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	商店街が行う事業のうち観光振興に特に寄与する事業に補助するもの。								
対 象	地域商店街								
内 容	次の事業等に対して補助を行う。 ・温泉場商店会が開催する「灯りの祭典」事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		100,000		700,000	
コスト	人件費	常勤職員	70,130		68,560	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0		70,130	
	総事業費		170,130		768,560	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		0		170,130	
財源合計		0	170,130		768,560	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
商工会会員数		補助対象	人	904	905	0
補助団体数		補助実績	団体	9	9	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
灯りの祭典来場者数		地域振興	人	0	0	3000
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町内事業所の雇用の安定につながっている。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内事業所の安定につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの 自己評価または 改善点		地域振興に寄与している	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	3	補助事業のため
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和2年度・3年度はコロナ禍で「灯りの祭典」は中止となったが、4年度はコロナ対策を施して実施した。	
令和6年度以降の 方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	商店街等の自主性を大切にしたいうえで協力してください。
---------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3223	担当課等	観光課							
事務事業名	さつきの郷誘客事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成15年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	四季彩のまちを具現化する場所の一つとして、さつきの郷の開花に合わせ、誘客を図るもの。								
対象	観光客								
内容	星ヶ山公園さつきの郷観光宣伝チラシの作成をする。 星ヶ山公園さつきの郷行事期間中の交通整理員等の委託業務。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		907,720	1,264,670	2,118,000			
	人件費	常勤職員	724,450	1,416,500	1,488,150			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	724,450	1,416,500	1,488,150			
	総事業費		1,632,170	2,681,170	3,606,150			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,632,170	2,681,170	3,606,150			
	財源合計		1,632,170	2,681,170	3,606,150			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
チラシ配布数			広報		部	5000	5000	5000
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
来場者数			観光客の誘致		人	1730	2353	1730
自家用車台数					台	803	1074	803

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	観光客を誘致し、観光振興の発展に寄与しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	さつきの郷には、町内外から来場されており、一定の集客・消費拡大につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	地場産品の販売、消費拡大など一定の観光振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		梅雨の時期のため、天候及び花の開花状況によって来場者数が大きく左右される状況にあるが、事業の広報の仕方について、検討、改善した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	交通整理等については、既に委託済み 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを中止とした。
令和5年度の見直し及び改善予定	イベント期間である令和5年5月末から6月にかけて来場者が多く、運行していたバスでは輸送が足りず、週末にバスを増発した。また、さつきのマルシェへの出店者を増やす必要がある。	
令和6年度以降の方向性	次年度も多くの来場者が見込まれるため、バスの増便を検討しつつ、バス路線復活など、バス事業者と調整する必要がある。 四季彩のまちを具現化する場所として、眺望も良く、湯河原町にとって貴重な観光資源である。SNSを利用した情報発信、開花情報のリアルタイムで発信することなど、効果的な情報発信の方法について検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	イベントのPRやアクセス方法を検討する必要がある。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3556	担当課等	観光課							
事務事業名	駅周辺活性化プロジェクト事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成28年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① 商工業関連団体 間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域商工業の活性化を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 駅周辺が一体化となって活性化し、駅周辺の賑わいの創出を図る必要があること から、ぶらん市を開催している駅前通り明店街へ補助金を交付するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		416,000	1,000,000	1,680,000		
	人件費	常勤職員	71,650	70,130	68,560		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	71,650	70,130	68,560		
	総事業費		487,650	1,070,130	1,748,560		
財源内訳	国庫支出金				980,000		
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		487,650	1,070,130	768,560		
	財源合計		487,650	1,070,130	1,748,560		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
商工会会員数			補助対象	人	904	905	0
補助団体数			補助実績	団体	9	9	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
ぶらん市来場者数			地位産業の振興	人	2000	4000	10000
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		「ぶらん市」の町民や観光客への認知度が向上、SNSによる情報発信	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和5年度の見直し及び改善予定	リストバンドを付けさせて入場者数を把握するなどコロナ対策を実施しながら「ぶらん市」を3回実施した。また、「みかんサミット」と合わせて実施し、誘客につなげた。 駅前ツリー設置事業については、趣向を凝らしたツリーを設置した。	
令和6年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	ぶらん市以外の駅周辺活性化を検討すること。
---------	----------	-----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

20240322

事業番号	3433	担当課等	観光課							
事務事業名	こごめの湯運営事務経費									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	7	事業開始年度	平成20年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	・指定管理制度による施設の運営。 ・指定管理者との協議により、計画的な修繕を行う								
対 象	施設利用者								
内 容	施設の維持管理修繕								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		事業費		事業費	
コスト	人件費	常勤職員	701,200	1,371,200	1,446,500	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	701,200	1,371,200	1,446,500	
	総事業費		6,241,435	10,934,250	13,637,500	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		6,241,435	10,934,250	13,637,500	
	財源合計		6,241,435	10,934,250	13,637,500	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
入場者数			人	65073	68212	69000
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			千人	3500	3804	3800
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	公の施設であるこごめの湯は、町が整備する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	施設修繕を行うことにより、施設のイメージアップを図ることを目的としているが、老朽化が激しいため、修繕箇所が多い。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	単年度では修繕が追いつかないため、複数年での修繕計画が必要とされる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	施設利用者の一人ひとりが軽的に利用していただけていると考えている。
令和4年度までの自己評価または改善点	・ファンゴ(温泉泥)施設の開設及び新たな旅行商品の開発。 ・インターネット割引、JAF会員割引制度等を実施。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、時短営業及び食堂の休業を実施。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	指定管理導入済み
令和5年度の見直し及び改善予定	・夜間割引制度を実施。 ・来客増加のための取り組みの検討。 ・新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、時短営業の終了。	
令和6年度以降の方向性	・安全・安心に施設を利用していただくため、指定管理者と協議しながら継続したい。 ・施設の今後のあり方について検討する必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	温泉場区への売却について検討を始める。
---------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	一次評価と同様
---------	---------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3542	担当課等	観光課							
事務事業名	made in ゆがわら認定事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成28年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	③ 名物料理・商品の 開拓				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目 的	湯河原町の地域資源を活用し、湯河原ブランドの確立により町のイメージアップと産業振興を図り、町経済の活性化を目指す。								
対 象	地域事業者 観光客								
内 容	「made in ゆがわら」としてブランド認定するための委員会の運営。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		218,687	122,433	300,000			
	人件費	常勤職員	358,250	350,650	342,800			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	358,250	350,650	342,800			
	総事業費		576,937	473,083	642,800			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		576,937	473,083	642,800			
	財源合計		576,937	473,083	642,800			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
made inゆがわら認定品数			産業の振興・活性化		件	16	25	30
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原ブランドの確立により町のイメージアップを図るため必要である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	町内外の方への消費拡大につながる。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	湯河原町の産業振興、活性化を目指す。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		「湯河原らしさ」について、観光アドバイザー政所利子先生のアドバイスをいただきながら議論し、16品目を認定。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	本来であれば商工会が主体となって行う事業であるとする。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和4年度に新たに9品目を認定し、令和5年度にはふるさと納税の返礼品としても一部登録をしてもらい、周知に務めた。また、認定基準の見直しを行った。	
令和6年度以降の方向性	現在25品目が認定されているが、PRや、販路の確保・拡大などについて推進を図りながら、次期認定募集についても検討を行う	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	町内において、「made in ゆがわら」の認知度を上げることを商工会と進めること。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3253	担当課等	観光課						
事務事業名	観光情報紙発行事業								
予算科目コード	会計		款		項		目	事業開始年度	平成29年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① 観光イベント・施 設情報の発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	本当に求められる地域の情報、魅力ある観光情報を町内外へ発信し、誘客を図る。								
対 象	町民・観光客								
内 容	湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした季刊情報などのDMの発信 湯河原散策マップの発行								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		898,860	5,057,350	5,526,000			
	人件費	常勤職員	289,780	283,300	297,630			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	289,780	283,300	297,630			
	総事業費		1,188,640	5,340,650	5,823,630			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,188,640	5,340,650	5,823,630			
	財源合計		1,188,640	5,340,650	5,823,630			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
フリーペーパーの発行					部	32000	39000	0
ゆがわらだよりの発行			事業実績の指標となる		回	3	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客への周知・イベント会場での配布などで、「湯河原町」をアピールするチラシ・パンフレットは町が作製する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	パンフレット配布により、受領者が湯河原を訪れる行程あるいは散策できる施設の照会に対応ができるため、費用に見合った効果が得られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	携帯端末が普及し、インターネット利用者が急増していますが、イベント開催内容・ハイキングコース案内などの配布には成果が得られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原を訪れる計画を立てる目的として、受益の機会が均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした顧客名簿の収集	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉に宿泊したことがある方に季刊情報などのDMの発信を委託済み
令和5年度の見直し及び改善予定	湯河原温泉に宿泊したことがある方に季刊情報などのDMの発信を実施。	
令和6年度以降の方向性	ラーメンマップ、パンマップ、日帰り温泉マップなど観光客が必要とするテーマ別チラシを作成し、湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした季刊情報などのDMの発信を行う。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3260	担当課等	観光課							
事務事業名	ロケツーリズム推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の発信				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町内で行われる映画、テレビドラマ等の円滑なロケ撮影を支援し、美しい自然景観、歴史、文化、街並みなど湯河原の魅力を映像を通じてより多くの人々に発信することにより、観光振興、地域振興並びに地域経済の活性化を推進し、まちへの愛着が深まることを目指すもの。								
対象	住民及び観光客								
内容	ロケの受入態勢を一本化し、経済三団体との組織的なロケ誘致を実施。 映像制作者向ロケ地検索サイト「ロケなび!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ掲載。 HPや広報紙等でエキストラ、ロケ地登録の実施。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		8,940,000	7,132,000	8,050,000			
	人件費	常勤職員	1,014,230	1,133,200	1,190,520			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,014,230	1,133,200	1,190,520			
	総事業費		9,954,230	8,265,200	9,240,520			
財源内訳	国庫支出金		4,349,000	3,450,000	3,450,000			
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		5,605,230	4,815,200	5,790,520			
	財源合計		9,954,230	8,265,200	9,240,520			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
ロケ実績			事業実績の指標となる		件	37	42	35
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
広告換算効果			事業実績の指標となる		千円	767650	292709	500000
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3500	3804	3800

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	町を挙げてロケツーリズムに取り組む姿勢が番組制作者にも良い印象を与え、業界内での評価も高くなることから、必要性は高い。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	番組の評価に直結はするものの、人気番組と連動した場合は、ロケ地への高い経済効果が期待できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	ワンストップ窓口で情報を集約し、番組制作者と町内の施設や事業者とマッチングすることができるため有効性は高い。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	番組制作者の意向が重視され、町内の施設や事業者の受益のバランスについて、番組制作者と調整をする必要がある。
令和4年度までの自己評価または改善点		これまでのロケ照会の窓口をワンストップ化したことで、情報が集約され番組制作者への回答の幅が広がった。またロケ地の検討については官民で連携し、多様なロケ地を検討する体制を構築することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	窓口を一本化し、組織的なロケ対応を確立したため。セミナー、ロケナビ、ロケーションジャパンについては委託。
令和5年度の見直し及び改善予定	ロケの受入態勢を一本化し、経済三団体との組織的なロケ誘致を実施。映像制作者向ロケ地検索サイト「ロケナビ!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ掲載。エキストラ、ロケ地登録の実施。	
令和6年度以降の方向性	ロケ実績の活用及び商店等における著作権処理を推進し誘客に繋げる。町民の参加を促し、シビックプライド(郷土愛)の醸成により地域活性化を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3166	担当課等	観光課							
事務事業名	梅基金積立金									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	湯河原梅林の保護育成・整備事業の財源とするための積立金。								
対 象	町民・観光客								
内 容	梅の宴行事開催中、募金箱を設置し、寄付を募り、湯河原梅林の保護・育成に活用している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		199,972		126,849		300,000	
	人件費	常勤職員	28,978		283,330		29,763	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	28,978		283,330		29,763	
	総事業費		228,950		410,179		329,763	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		228,950		410,179		329,763	
	財源合計		228,950		410,179		329,763	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
梅基金寄付金					円	200000	126149	200000
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、町が実施する必要と責任がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	梅林来場者による湯河原梅林への寄付金を基金として積み立てるもので、歳入歳出は同額となる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	梅の宴の来場者数と比例するため、来場者が少ないと成果が低いと思われる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		・多様なキャッシュレス決済に対応が可能な端末を導入し、来園者の利便性の向上を図った。 ・旅館の送迎用バスを、第1駐車場まで乗り入れを実施。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町基金であるため。
令和5年度の見直し及び改善予定	梅の宴開催期間中に募金箱を設置。 梅林を観光資源として保護育成することの重要性について再認識する機会となるため、梅基金についても積極的に寄付金を募る方策を検討したい。	
令和6年度以降の方向性	梅PPV(ウメ輪紋ウイルス)対策の観点からも、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、継続して実施する必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	10921	担当課等	観光課							
事務事業名	ゆがわらハロウィン開催事業補助金									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成27年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	若年層を対象にしたイベントで、町外(県外)からの参加者を募り、誘客に結びつけ る。								
対 象	住民及び観光客								
内 容	ハロウィンイベントを開催								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		3,500,000		4,000,000		3,500,000	
	人件費	常勤職員	28,978		28,330		29,763	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	28,978		28,330		29,763	
	総事業費		3,528,978		4,028,330		3,529,763	
財源内訳	国庫支出金		3,500,000		4,000,000			
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		28,978		28,330		3,529,763	
	財源合計		3,528,978		4,028,330		3,529,763	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
イベント来場者数			地域産業の振興		人	5000	8000	10000
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	観光客の誘客が図られている
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		年々イベントの周知が図られ、事業開始年度から来場者数の増加が続いている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和5年度の見直し及び改善予定	引き続き子供たちが遊べるスペースを充実させ、なお、大人から子供が楽しめる湯河原の名産品が当たるガラポン抽選会を実施	
令和6年度以降の方向性	ハロウィンイベントは令和5年度が最終年度となるため、その後のイベントについても方向性をかためる必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き、地域の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
---------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

20240322

事業番号	3049	担当課等	観光課						
事務事業名	海水浴場運営事業								
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	海水浴場を開設し、湯河原の夏の魅力をPRする。								
対 象	観光客・町民								
内 容	湯河原海水浴場の開設								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		10,599,640	12,355,974		13,678,957		
	人件費	常勤職員	1,408,330	1,371,200		1,446,500		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,408,330	1,371,200		1,446,500		
	総事業費		12,007,970	13,727,174		15,125,457		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		12,007,970	13,727,174		15,125,457		
	財源合計		12,007,970	13,727,174		15,125,457		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
海水浴場客数					人	18730	15652	25000
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)					千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原海水浴場の安全・安心を確保するためにも、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	湯河原海水浴場の安全・安心が確保されており、効果が得られていると考えている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	湯河原海水浴場の安全・安心が確保され、家族連れなども安心して楽しめる海水浴場となっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考えている。
令和4年度までの自己評価または改善点		海水浴場警備本部の看板の修繕及び、安全管理のための巡視などを実施。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	海水浴場の開設については、安全管理上から町が実施したい。監視業務については委託済み。
令和5年度の見直し及び改善予定	新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、感染症対策を行いながらも、例年通りの開設になった。	
令和6年度以降の方向性	夏の集客の1つとして、来場者が安全安心に楽しんでもいただける海水浴場を目指して監視・救助業務を実施、引き続き湯河原海水浴場組合の協力をいただきながら、海水浴場の運営を行っていききたい。 JLA認定海水浴場の継続認定を受けることで湯河原海岸の安全性を広くアピールしていきたい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	湯河原の夏の魅力を発信するうえで、海水浴場のPR方法を検討する必要がある。
---------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	海水浴場の運営方法も検討する必要がある。
---------	----------	----------------------

令和5年度事務事業評価シート

20240322

事業番号		担当課等	観光課						
事務事業名	万葉公園管理経費								
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	5	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	・指定管理制度による施設の運営 ・指定管理者との協議により、計画的な修繕を行う。								
対 象	施設利用者								
内 容	施設の維持管理修繕								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		44,869,836	43,026,850		43,371,000		
	人件費	常勤職員	701,300	1,371,200		1,446,500		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	701,300	1,371,200		1,446,500		
	総事業費		45,571,136	44,398,050		44,817,500		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		45,571,136	44,398,050		44,817,500		
	財源合計		45,571,136	44,398,050		44,817,500		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
湯河原惣湯利用者数					人	46125	51531	46200
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)					千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	万葉公園については公の施設であるため、町が整備する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	公園内の景観を良い状態で保つことにより、更なる集客が見込まれる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	景観の維持には継続的な整備が必要になるため、有効性は高い。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	施設利用者の一人ひとりに快適に利用していただけていると考えている。
令和4年度までの自己評価または改善点		・Park-PFI制度を利用した万葉公園の再整備。 ・リニューアルした施設でのコワーキングスペース等の実施	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	Park-PFI制度を活用し、事業を実施している。
令和5年度の見直し及び改善予定	・来客増加の為の取り組みの検討。 ・公園内の景観の維持	
令和6年度以降の方向性	公園施設内を安心・安全に散策していただくために指定管理者と協議を行いながら、継続をしていきたい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	イベントの充実や来客増加の方法を検討する必要がある。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3177		担当課等		観光課					
事務事業名	観光立町推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成24年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづく り	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	⑥ 万葉荘の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	・平成24年6月に策定した「観光立町推進計画」に基づき、観光立町の実現に向けた施策として、観光立町推進会議の審議を経て、講演会等を開催。 ・観光大使及びゆたぼんファイブがイベント等に出演する委託料を計上。								
対象	観光客、観光大使、観光立町推進計画委員等								
内容	伝統芸能伝承事業 万葉荘運営事業者評価委員会 観光大使による観光宣伝 ゆたぼんイベント出演								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)			
	事業費		7,519,825	6,543,749	8,253,000			
	人件費	常勤職員	724,450	708,250	744,075			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	724,450	708,250	744,075			
	総事業費		8,244,275	7,251,999	8,997,075			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		8,244,275	7,251,999	8,997,075			
	財源合計		8,244,275	7,251,999	8,997,075			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
ゆたぼんファイブのイベント出演					回	4	8	5
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	県から万葉荘を取得し、万葉荘の営業を存続する事業は、町以外において実施することができない。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果検証は難しいが、約2万人の宿泊者を確保していること、一定の効果が得られていると考える。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	かつて、閉鎖となる予定であった万葉荘を県から取得し、年間約2万人の宿泊者を確保していることは一定の成果を得ていると考える。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考え。
令和4年度までの自己評価または改善点	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、各地でのイベント開催が増え、ゆたぼんファイブのイベント出演が増えた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	ゆたぼんのイベント出演等を委託済み
令和5年度の見直し及び改善予定	・第2期観光立町推進計画の推進	
令和6年度以降の方向性	・第2期観光立町推進計画に基づく実施計画の進捗管理を実施していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	湯河原町観光立町推進計画に沿った実施計画を作成し、実行していくこと。
---------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3119	担当課等	観光課						
事務事業名	誘客宣伝事業								
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑤ 湯河原温泉の個 性化・情報発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	インターネットを活用した個人消費者へのPRを行い、宿泊客の誘導を図る。また、観光宣伝用ノベルティー等を作成し、各種観光キャラバン等で配布し誘客を図る。								
対 象	観光客								
内 容	旅行エージェント(リクルート、楽天トラベル等)のインターネットの活用や誘客キャラバンの実施。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		8,920,000	8,600,000	10,100,000			
	人件費	常勤職員	579,560	566,600	595,260			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	579,560	566,600	595,260			
	総事業費		9,499,560	9,166,600	10,695,260			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		9,499,560	9,166,600	10,695,260			
	財源合計		9,499,560	9,166,600	10,695,260			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
誘客キャラバン数			誘客宣伝		回	3	0	3
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			0		千人	3500	3804	3800
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	観光を基幹産業とする本町において、町と連携して事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考える。
令和4年度までの自己評価または改善点	・インターネットのアクセス数、エリア別の観光客数、年齢層などを解析し、具体的な戦略を実施 ・箱根駅伝往路ゴール付近での誘客宣伝の実施		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	委託にて実施済み
令和5年度の見直し及び改善予定	大手旅行ネットエージェントにて、特集ページの作成及びクーポン付き宿泊プランの造成・販売。 積極的に観光キャラバンを実施し、対面での誘客を図る。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、大手旅行ネットエージェント及びキャラバンによる誘客を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげる。
---------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3233	担当課等	観光課							
事務事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成27年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑤ 観光アドバイザー の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	本町の観光客数が長年低迷している状況を踏まえ、観光の振興につながる新分野進出・新事業展開やインバウンド事業の推進などについて専門的な知識を持つ観光アドバイザーからの適切かつ有効な指導、助言を受ける。多種多様なメディアに対して働きかけ、本町の情報発信の拡充を図る。町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化を図る。								
対象	観光客								
内容	・観光アドバイザーの設置 ・観光プロモーション活動の実施 ・湯河原観光のポータルサイトの立ち上げ、町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化・明治大学と連携し、町の魅力の検討や発信を実施								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
コスト	人件費	724,450		708,250		744,075	
	会計年度任用職員等						
	人件費合計	724,450		708,250		744,075	
	総事業費	4,584,172		3,708,250		3,744,075	
財源内訳	国庫支出金	2,000,000					
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	2,584,172		3,708,250		3,744,075	
	財源合計	4,584,172		3,708,250		3,744,075	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
アドバイザーとの意見交換・講演等		アドバイザーの出席回数		回	2	2	2
プロモーション撮影		動画・静止画等の撮影		回	3	0	3
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる		千人	3500	3804	3800
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	効果検証は難しいが、観光振興につながる新分野、新事業などの、インバウンド事業の推進に適切かつ有効な指導、助言を得ることができ、継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化が図られ、プロモーションビデオも完成することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考えている。
令和4年度までの自己評価または改善点		・観光アドバイザー政所利子先生に観光立町推進会議に出席いただき、湯河原の観光施策の方向性や第2期観光立町推進計画の策定についてアドバイスをいただいた。また、吉浜海岸の呼称統一に係るブランディングアドバイスをいただいた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和5年度の見直し及び改善予定	・観光アドバイザーの委嘱 政所利子氏に委嘱 ・観光アドバイザーの観光立町推進会議への出席 ・湯河原をイメージできるキャッチコピーの活用	
令和6年度以降の方向性	・本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、専門的な知識を持つアドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町が継続して実施する必要がある。 ・キャッチコピーの活用と浸透を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	各種アドバイザーを効果的に活用すること。
------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024.03.21

事業番号	3237		担当課等		観光課					
事務事業名	インバウンド情報発信推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成27年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづく り	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑥ インバウンドの情報 発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
								○	
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目 的	湯河原町を訪れる外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語パンフレット及びホームページの運営。アフターコロナを見据えたインバウンド需要の獲得のためターゲットを絞り実施するもの								
対 象	外国人観光客または湯河原町を訪れようとする外国人観光客								
内 容	・外国人向けホームページの管理・運営 ・インフルエンサーによる台湾への情報発信 ・おもてなし英会話講座の開催 ・在日外国人に向けた情報発信								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
コスト	人件費	724,450		708,250		744,075	
	会計年度任用職員等						
	人件費合計	724,450		708,250		744,075	
	総事業費	1,724,450		1,708,250		1,744,075	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	1,724,450		1,708,250		1,744,075	
	財源合計	1,724,450		1,708,250		1,744,075	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
おもてなし英会話講座の参加者		事業実績の指標となる		人	21	39	30
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる		千人	3500	3804	3800
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果検証は難しいが、設置した3つの部会での活動は、インバウンド事業の推進に適切かつ有効な手段となっていると思われる。継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	アフターコロナにおけるインバウンド需要を見据え、湯河原温泉の情報を外国人観光客により強力に発信していく必要があり、その一助となっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成するインバウンド情報発信推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考える。
令和4年度までの自己評価または改善点	インバウンド需要獲得のためのHPの維持管理を行うとともに、ターゲットを台湾に絞りインフルエンサーによるPRを実施したことにより、着実に本町の魅力が発信されている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会に委託済み
令和5年度の見直し及び改善予定	・外国人向けホームページの管理・運営 ・インフルエンサーによる台湾への情報発信 ・おもてなし英会話講座の実施 ・在日外国人に向けた情報発信	
令和6年度以降の方向性	・ホームページの拡充や外国人向けパンフレットの充実 ・SNSを活用した海外への情報発信の実施 ・おもてなし英会話講座への参加事業者増加の取り組み	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	多様かつ変化が速いインバウンド需要を客観的に把握し、無理の無い範囲でターゲットを設定すること。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

2024/03/22

事業番号	13675		担当課等		観光課					
事務事業名	事業発展支援事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	2022

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	②経営者研修会の開 催				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
								○	○
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目 的	町内の生産者・事業者のマーケティング調査を実施し、伴走型の創業支援及び町外の販売チャンネルとのマッチングを実施する。								
対 象	町内の事業者及び町内で創業を考えている個人事業主など								
内 容	創業支援セミナー、伴走型支援、ビジネスマッチング、町内企業マーケティングの実施								

2 実施結果

(単位 円)

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
コスト		事業費	0	3,190,000		3,300,000		
	人件費	常勤職員	0	283,300		297,630		
		会計年度任用職員等	0	0		0		
		人件費合計	0	283,300		297,630		
		総事業費	0	3,473,300		3,597,630		
財源内訳		国庫支出金	0	1,595,000		1,650,000		
		県支出金	0	844,000		0		
		地方債	0	0		0		
		その他特定財源	0	0		0		
		一般財源	0	1,034,300		1,947,630		
		財源合計	0	3,473,300		3,597,630		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
創業支援セミナー開催数					回	0	6	6
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
創業支援セミナー参加者数					人	19	64	50
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	地域産業の掘り起こしのため、商工会と連携し町内での創業や事業の発展・拡大を希望する事業者を支援し、町内産業の活性化を図る必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事業を(一社)100年企業創業協会に委託することで、様々な知見の専門家からの助言やセミナーを実施することができ、創業支援については幅広い知識が取得でき、事業発展に関しても、広い分野に対応することができるため、類似性が低い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	多様化する社会ニーズに合わせ、セミナー内容を見直し、伴走型に支援することで、希望者にあった支援が可能で、確実性が高い。 また、(一社)100年企業創業協会に委託することで、幅広い創業ニーズに対応できることから、有効性は高い。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内での創業や事業拡大などを希望する事業者を対象とするため、公平性は確保されている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和4年度のセミナーや伴走支援、ビジネスマッチングを実施する中で、参加者のアンケートなどを参考にさらなるニーズの掘り起こしを行い、次年度につなげていく。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	(一社)100年企業創業協会に委託済
令和5年度の見直し及び改善予定	セミナーや伴走支援、ビジネスマッチングを実施する中で、参加者のアンケートなどを参考にさらなるニーズの掘り起こしを行い、次年度につなげていく。	
令和6年度以降の方向性	セミナーやマッチングの周知がより必要であり、ニーズの掘り起こしに加え、事業の周知により注力していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3514	担当課等	観光課							
事務事業名	中小企業退職金共済掛金助成事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	② 融資制度、利子 補給、制度の拡充				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	町内事業所の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	退職金共済制度(中小企業退職金共済制度・特定退職金共済制度)に新規加入する事業所に対し、掛け金の一部を助成するもの。(掛金の10%)								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		699,000		606,100		784,000	
	人件費	常勤職員	202,846		198,310		208,341	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	202,846		198,310		208,341	
	総事業費		901,846		804,410		992,341	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		901,846		804,410		992,341	
	財源合計		901,846		804,410		992,341	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
助成事業所数			中小企業事業所支援		件	30	25	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町内事業所の雇用の安定につながっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		町内事業所の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上が図られている	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和6年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3505	担当課等	観光課							
事務事業名	商工業振興事業補助金									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成17年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性 化と人材育成	① 商工業関連団体 間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域商工業の活性化を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・産業祭等事業…地域産業の振興に寄与する産業祭。 ・商業振興事業…商店街連合会と協力し、商店の掘り起こしを図る。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		800,000	800,000	800,000		
	人件費	常勤職員	86,934	84,990	89,289		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	86,934	84,990	89,289		
	総事業費		886,934	884,990	889,289		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		886,934	884,990	889,289		
	財源合計		886,934	884,990	889,289		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
商工会会員数			補助対象	人	905	888	0
補助団体数			補助実績	団体	9	9	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
産業祭来場者数			地域産業の振興	人	0	2000	3500
リフォームお助け隊相談数			工業の振興	件	21	25	30

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	産業祭には町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。リフォームお助け隊事業は隊員の増強による事業の充実が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		「産業祭」イベントが町民・観光客に対し、認知度が向上	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし
令和6年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	3509	担当課等	観光課							
事務事業名	商店街振興事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成20年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性 化と人材育成	① 商工業関連団体 間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域商工業の活性化を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・商店街連合会振興事業…商店街連合会が主催するイベント等。 ・地域商業活性化事業…地域商店街の活性化を目的とした商品券を発行。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		7,291,989	7,722,939	8,590,000			
	人件費	常勤職員	86,934	84,990	89,289			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	86,934	84,990	89,289			
	総事業費		7,378,923	7,807,929	8,679,289			
財源内訳	国庫支出金		2,253,137	4,023,574				
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		5,125,786	3,784,355	8,679,289			
	財源合計		7,378,923	7,807,929	8,679,289			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
商工会会員数			補助対象		人	905	888	0
補助団体数			補助実績		団体	9	9	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
取扱店舗数			商工業の振興		店	341	348	330
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		・インターネット受付予約を開始することにより、コロナ禍での三密回避ができ、利用者の評判も上場であった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和6年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12687	担当課等	観光課							
事務事業名	地場産品販売促進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	⑧ 都市・直売化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目 的	豊島区池袋の「イケ・サンパーク」で開催されるファーマーズマーケットに町内の地場産品を出品し、販売促進を図る								
対 象	ファーマーズマーケット来場者								
内 容	地場産品の販売促進及び湯河原町のPR								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,500,000		1,000,000		1,500,000	
	人件費	常勤職員	202,846		198,310		208,341	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	202,846		198,310		208,341	
	総事業費		1,702,846		1,198,310		1,708,341	
財源内訳	国庫支出金				1,000,000			
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,702,846		198,310		1,708,341	
	財源合計		1,702,846		1,198,310		1,708,341	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
出店回数					回数	4	33	4
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町のPRも兼ねており必要である
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	出店日は完売の状況である
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	出店日は完売の状況である
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		コロナ禍で出店できない時期もあったが、出店した際には予想以上の売り上げがあった	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	
令和5年度の見直し及び改善予定	前年度より多く出店することが出来、湯河原町のPRにつながった	
令和6年度以降の方向性	引き続き出店者を募り実施していく	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	販路の拡大につながる期待がある。
---------	----------	------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	14313	担当課等	観光課							
事務事業名	新たな温泉資源活用事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅳ 地方創生の推進	1 地方創生	(2) 移住の促進	① 観光イベント・施設情報の発信				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	新たな温泉資源の活用として、本町の温泉を使用したクラフト温泉の開発及び商品化を行い、その商品PRや次年度以降の流通等を確立させるもの。								
対 象	住民及び観光客								
内 容	・クラフト温泉の開発、サンプル品の作成 ・クラフト温泉のプロモーション								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		12,000,000		14,000,000	
コスト	人件費	常勤職員	434,670		595,260	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0		434,670	
	総事業費		12,434,670		14,595,260	
財源内訳	国庫支出金		6,000,000		7,000,000	
	県支出金		3,178,000			
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		0		3,256,670	
	財源合計		0		12,434,670	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
プロモーション(イベント等)		事業実績の指標となる	回	0	1	2
プロモーション(SNS)		事業実績の指標となる	回	0	0	30
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	3602	3804	3800
販売実績		事業実績の指標となる	個	0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	新たな温泉資源の活用として、本町の温泉を使用したクラフト温泉の開発及び商品化うため、町が先頭に立ち事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	新たな温泉資源の活用として、本町の温泉を使用したクラフト温泉の開発及び商品化うため、町が先頭に立ち事業を実施する必要がある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	温泉を観光資源とする本町に合った事業であり、本町がターゲットとする女性にリーチする事業である。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	湯河原温泉の知名度向上や温泉街としてのプロモーションを行っているため、公平性は高い。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和3年度は製品開発及び試作品の作成を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	クラフト温泉の製造には特許技術を持った事業者が行う必要があり、また、プロモーションにおいても、若年層に情報を届ける事業者に委託する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	- 商品を広くPRするため、東京ガールズコレクションや若年層に情報が届くインフルエンサーを活用したプロモーションを実施する必要がある。 - 製品をより気軽に購入していただけるよう、300mlの瓶に加え100mlの商品を開発し販売を開始した。	
令和6年度以降の方向性	- 湯かけまつりなど、町内のイベントと連携しPRを行う。 - 販売チャネル拡大を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	3年間の計画に沿って進めてください。ただし、販売方法の見直しは必要。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------